

#### 平成24年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

平成23年11月4日

上場会社名 日本梱包運輸倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9072 URL <a href="http://www.nikkon.co.jp">http://www.nikkon.co.jp</a>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員

(氏名) 黒岩 正勝 問合せ先責任者(役職名)経理部長 (氏名) 枩田 泰典

TEL 03-3541-5331 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

#### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業利	J益	経常和	l益	四半期紀	柯益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	60,920	△1.7	3,526	△27.2	3,726	△24.5	1,831	△34.4
23年3月期第2四半期	61,988	9.4	4,843	52.4	4,934	26.6	2,793	52.4

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 △798百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 1,078百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
24年3月期第2四半期	26.30	26.29
23年3月期第2四半期	39.38	_

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	180,218	120,889	66.4
23年3月期	184,302	122,401	65.7

24年3月期第2四半期 119,628百万円 23年3月期 121,133百万円 (参考) 自己資本

#### 2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円銭	円 銭	円 銭	円銭		
23年3月期	_	10.00	_	11.00	21.00		
24年3月期	_	8.00					
24年3月期(予想)				10.00	18.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

#### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	· 引益	経常和	利益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,500	△3.5	7,000	△21.5	8,000	△16.0	4,500	△22.7	64.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 24年3月期2Q 74,239,892 株 23年3月期 74,239,892 株 2 期末自己株式数 24年3月期2Q 4,592,460 株 23年3月期 4,590,515 株 3 期中平均株式数(四半期累計) 24年3月期2Q 69,647,931 株 23年3月期2Q 70,949,581 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく 四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

タイ国で発生した洪水の影響により、A.N.I.LOGISTICS,LTD.、NIPPON KONPO(THAILAND)CO.,LTD.、A.N.I.TRANSPORT,LTD.の3社は、9月度の会計数値の集計ができない状況にあります。これによる影響は重要でないと判断されるため、当第2四半期連結累計期間において、当該3社については平成23年4月1日から平成23年8月31日までの財務諸表を連結しております。

### 〇添付資料の目次

1.	当四	3半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
	(1)	連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・2
	(2)	連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・3
	(3)	連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・3
2.	サマ	?リー情報(その他)に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
	(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・4
	(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・・・・・4
		会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・4
3.	四半	≟期連結財務諸表⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯5
	(1)	四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・5
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・フ
	(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・9
	(4)	継続企業の前提に関する注記・・・・・・・11
	(5)	セグメント情報等・・・・・・・11
	(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・12
	(7)	重要な後発事象・・・・・・・・・・・12

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や原発問題による電力供給不足の影響が懸念されておりましたが、サプライチェーンの早期回復や計画停電の回避により、生産活動や個人消費に持ち直しが見られたものの、欧州の財政不安や米国経済の不透明感から円高の長期化が懸念され、先行き予断を許さない状況にあります。

当物流業界におきましては、企業の生産活動の回復に伴い貨物量は回復基調にありますが、顧客企業の物流費の削減や燃料価格の高止まりなどの影響により厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは新規業務の獲得に向けた営業努力を重ねてまいりましたが、震災の影響により主要顧客である自動車業界の貨物取扱量が減少した結果、売上高は前年同期比 1.7%減の 609 億 20 百万円となりました。

営業利益につきましては、設備投資の抑制に伴う減価償却費の減少がありましたが、燃料費の増加や売上高の減少による影響で、前年同期比 27.2%減の 35 億 26 百万円となりました。

経常利益につきましては、前年同期比 24.5%減の 37 億 26 百万円となりました。その要因といたしましては、持分法による投資利益が減少したことなどにより、営業外収益が前年同期比 10.3%減の 7 億 55 百万円となった一方、投資有価証券評価損の減少などにより、営業外費用が前年同期比 26.1%減の 5 億 55 百万円となったことによるものであります。

この結果、四半期純利益につきましては、前年同期比34.4%減の18億31百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 運送事業

震災の影響により主要顧客である自動車業界の貨物取扱量は減少しましたが、前期末に連結子会社化した中越テック㈱及び札幌新聞輸送㈱が寄与したことにより、売上高は前年同期比 4.1%増の 303 億 57 百万円となりました。営業利益は、輸送効率の低下に加え燃料価格の高止まりもあり、前年同期比 28.0%減の 9 億 74 百万円となりました。

#### ② 倉庫事業

震災の影響による貨物量の減少はありましたが、新規業務の獲得により、売上高は前年同期比 0.9%増の 88 億 25 百万円となりました。営業利益は、固定費の削減や保管効率の向上等により、前年同期比 23.7%増の 20 億 95 百万円となりました。

#### ③ 梱包事業

震災の影響による業務量の減少があり、また、タイの連結子会社は、前期に決算期を変更したことに伴い、前第2四半期連結累計期間は、9ヶ月間の財務諸表を連結しましたが、当第2四半期連結累計期間は、洪水の影響で5ヶ月間の財務諸表を連結しております。これらの影響により、売上高は前年同期比 10.3%減の 149億64百万円となりました。営業利益は、売上高の減少や作業効率の低下などにより前年同期比 63.5%減の4億62百万円となりました。

#### ④ テスト事業

主要取引先の新規業務の獲得により、売上高は前年同期比 7.1%増の 40 億 13 百万円となりました。営業利益は、売上高の増加はあったものの固定費の増加を吸収することができず 57 百万円の損失となりました。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は 505 億 24 百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7 百万円減少しました。これは主に有価証券が 21 億 74 百万円、その他のうちの短期貸付金が 2億 33 百万円減 少し、受取手形及び売掛金が 12 億 51 百万円、現金及び預金が 10 億 20 百万円増加したことによるものであり ます。固定資産は 1,296 億 94 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 38 億 75 百万円減少いたしました。こ れは主に投資有価証券が 18 億 42 百万円、有形固定資産が 18 億 29 百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,802億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億83百万円減少いたしました。

#### 2 負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は337億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億22百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が49億78百万円増加したことによるものであります。 固定負債は255億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ73億93百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が56億44百円、繰延税金負債が12億45百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は 593 億 29 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 25 億 70 百万円減少いたしました。

#### ③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,208億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億12百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が19億32百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.4%(前連結会計年度末は65.7%)となりました。

#### 4 キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。) は 117 億 49 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 50 億 83 百万円減少いたしました。

営業活動の結果得られた資金は34億67百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ7億25百万円減少いたしました。これは主に税金等調整前四半期純利益が14億4百万円、法人税等の支払額が12億79百万円減少し、売上債権が5億57百万円増加したことによるものであります。

投資活動の結果支出した資金は22億66百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ95億35百万円増加いたしました。これは主に定期預金の預入による支出が54億3百万円、有価証券の取得による支出が42億91百万円増加したことによるものであります。

財務活動の結果支出した資金は 16 億 61 百万円となり、前第 2 四半期連結累計期間に比べ 67 億 43 百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済による支出が 47 億 70 百万円、自己株式の取得による支出が 19 億 99 百万円減少したことによるものであります。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、タイ国にて発生しました洪水による当社グループの業績への影響が現時点では不明であるため、平成23年5月23日公表の通期の連結業績予想を変更しておりません。今後、業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

- 2. サマリー情報 (その他) に関する事項
  - (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の連結グループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13, 177	14, 198
受取手形及び売掛金	22, 135	23, 38
有価証券	11, 593	9, 41
商品及び製品	39	1
原材料及び貯蔵品	518	46
繰延税金資産	1, 403	1, 39
その他	1, 883	1,65
貸倒引当金	△18	△1
流動資産合計	50, 732	50, 52
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41, 436	40, 04
機械装置及び運搬具(純額)	2, 459	2, 05
工具、器具及び備品(純額)	709	68
土地	61, 405	61, 32
リース資産 (純額)	182	15
建設仮勘定	171	26
有形固定資産合計	106, 365	104, 53
無形固定資産		
のれん	301	27
その他	1, 600	1, 46
無形固定資産合計	1,902	1,74
投資その他の資産		
投資有価証券	21, 672	19, 83
長期貸付金	124	11
繰延税金資産	1, 828	1, 86
その他	1, 785	1, 70
貸倒引当金	△108	△9
投資その他の資産合計	25, 302	23, 41
固定資産合計	133, 570	129, 69
資産合計	184, 302	180, 21

		(平位・日ガロ
	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10, 030	10, 35
短期借入金	2, 187	7, 16
1年内償還予定の社債	5, 400	5, 40
リース債務	59	(
未払法人税等	1,600	1, 54
賞与引当金	2, 173	2, 19
役員賞与引当金	157	
災害損失引当金	251	
設備関係支払手形	795	4
その他	6, 264	6, 5
流動負債合計	28, 919	33, 7
固定負債		
社債	10, 800	10, 6
長期借入金	10, 775	5, 1
リース債務	127	
繰延税金負債	4, 551	3, 3
退職給付引当金	5, 188	5, 2
役員退職慰労引当金	878	2
その他	659	9
固定負債合計	32, 981	25, 5
負債合計	61, 900	59, 3
純資産の部		·
株主資本		
資本金	11, 316	11, 3
資本剰余金	12, 332	12, 3
利益剰余金	98, 985	100, 0
自己株式	△6, 128	△6, 1
株主資本合計	116, 505	117, 5
その他の包括利益累計額		<u>·</u>
その他有価証券評価差額金	6, 411	4, 4
為替換算調整勘定	△1, 783	$\triangle 2, 4$
その他の包括利益累計額合計	4,627	2, 0
新株予約権		<u></u>
少数株主持分	1, 268	1, 1
純資産合計	122, 401	120, 8
負債純資産合計	184, 302	180, 2

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第2四半期連結累計期間)

	111	/		_	Fi	$\overline{}$	1
- 1	単	11/	•	$\mathbf{H}$	Л	ш	١.

- 売上高		至 平成23年9月30日)
	61, 988	60, 920
売上原価	53, 792	53, 948
売上総利益	8, 196	6, 971
販売費及び一般管理費	3, 352	3, 444
営業利益	4, 843	3, 526
営業外収益		
受取利息	149	115
受取配当金	144	163
受取賃貸料	36	35
持分法による投資利益	170	104
雑収入	341	337
営業外収益合計	842	755
営業外費用		
支払利息	190	179
為替差損	130	137
投資有価証券評価損	395	203
雑支出	35	35
営業外費用合計	752	555
経常利益	4, 934	3, 726
特別利益		
固定資産売却益	10	53
貸倒引当金戻入額	25	_
役員退職慰労引当金戻入額	9	_
その他	6	<u> </u>
特別利益合計	52	53
特別損失		
固定資産売却損	3	5
固定資産除却損	26	16
投資有価証券評価損	4	_
投資有価証券売却損	<del>-</del>	116
持分変動損失	_	7
災害による損失		87
特別損失合計	34	231
税金等調整前四半期純利益	4, 952	3, 547
法人税等	2, 126	1, 781
少数株主損益調整前四半期純利益	2, 826	1, 765
少数株主利益又は少数株主損失(△)	32	△65
四半期純利益	2, 793	1,831

		(十四・日/4/17)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2, 826	1, 765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,118	△1, 931
為替換算調整勘定	△616	△637
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	4
その他の包括利益合計	△1,747	△2, 564
四半期包括利益	1, 078	△798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1, 047	△736
少数株主に係る四半期包括利益	31	△61

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4, 952	3, 547
減価償却費	2, 652	2, 476
のれん償却額	27	27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	127	20
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△99	△84
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△14
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	99	41
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△88	△644
受取利息及び受取配当金	△294	△278
支払利息	190	179
持分法による投資損益(△は益)	△170	△104
固定資産売却損益(△は益)	△7	△47
固定資産除却損	12	_
災害による損失	_	87
売上債権の増減額 (△は増加)	△824	△1, 381
その他の資産の増減額 (△は増加)	58	169
仕入債務の増減額(△は減少)	503	384
その他の負債の増減額(△は減少)	△767	385
その他	475	422
小計	6, 850	5, 185
利息及び配当金の受取額	446	417
利息の支払額	△196	△178
災害損失の支払額	_	△329
法人税等の支払額	△2,906	△1,627
営業活動によるキャッシュ・フロー	4, 193	3, 467
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	$\triangle 705$	△6, 109
定期預金の払戻による収入	4, 185	3, 105
有価証券の取得による支出	△1,718	△6, 010
有価証券の売却による収入	7, 071	9, 327
有形固定資産の取得による支出	△1, 496	$\triangle 1,490$
有形固定資産の売却による収入	44	264
無形固定資産の取得による支出	△30	$\triangle 0$
投資有価証券の取得による支出	△841	△1,788
投資有価証券の売却による収入	909	221
貸付けによる支出	△191	$\triangle 22$
貸付金の回収による収入	43	234
その他	<u> </u>	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	7, 268	$\triangle 2,266$

		(単位・日ガロ)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1, 200	1, 306
短期借入金の返済による支出	△1, 200	$\triangle 1,276$
長期借入れによる収入	_	60
長期借入金の返済による支出	△5, 527	△756
社債の償還による支出	△200	△200
自己株式の取得・売却による収支	△2,001	$\triangle 1$
配当金の支払額	△715	△766
少数株主への配当金の支払額	△26	△8
その他	66	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8, 404	△1, 661
現金及び現金同等物に係る換算差額	△133	△122
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,924	△582
現金及び現金同等物の期首残高	13, 816	12, 332
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	92	_
現金及び現金同等物の四半期末残高	16, 833	11,749

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

#### (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

1						`	十四, 口, 11
報告セグメント				その他			
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計	(注)	合計
売上高							
外部顧客への売上高	29, 164	8, 743	16, 679	3, 746	58, 333	3, 655	61, 988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	113	133	213	11	472	438	911
計	29, 278	8, 876	16, 892	3, 757	58, 805	4, 094	62, 900
セグメント利益 又は損失(△)	1, 354	1, 693	1, 267	Δ6	4, 309	391	4, 700

- (注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んで おります。
  - 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4, 309
「その他」の区分の利益	391
その他の調整額(注)	143
四半期連結損益計算書の営業利益	4, 843

- (注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。
  - 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報該当事項はありません。

- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

							十四, 四, 11,
報告セグメント				その他			
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計	(注)	合計
売上高							
外部顧客への売上高	30, 357	8, 825	14, 964	4, 013	58, 159	2, 760	60, 920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70	156	237	2	467	554	1, 021
計	30, 428	8, 982	15, 201	4, 015	58, 627	3, 314	61, 942
セグメント利益 又は損失(△)	974	2, 095	462	△57	3, 475	△85	3, 389

- (注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んで おります。
  - 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3, 475
「その他」の区分の損失	△85
その他の調整額(注)	136
四半期連結損益計算書の営業利益	3, 526

- (注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報該当事項はありません。
- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。

#### (7) 重要な後発事象

平成23年10月にタイ国にて発生しました洪水により、当社連結子会社A.N.I.LOGISTICS,LTD.の建物・設備において浸水被害を受けておりますが、洪水の長期化に伴い、具体的な被害状況および損害額ならびに復旧の見込み等を把握することが困難な状況にあります。

また、この洪水に伴う当社取引先の操業停止等、当社グループの業績への影響が予想されますが、現時点では算定が困難であります。